

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2004-536201(P2004-536201A)

【公表日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【年通号数】公開・登録公報2004-047

【出願番号】特願2003-515588(P2003-515588)

【国際特許分類】

C 08 L 101/00 (2006.01)

C 08 K 5/3447 (2006.01)

C 09 B 57/00 (2006.01)

【F I】

C 08 L 101/00

C 08 K 5/3447

C 09 B 57/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月7日(2005.7.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

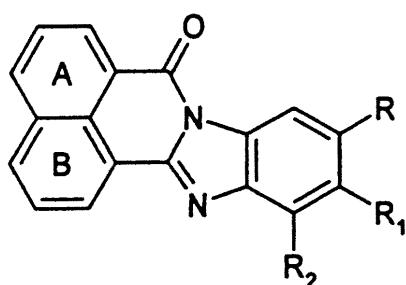
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

合成材料を練り込み着色する方法であって、式

【化1】



(1)

(式中、

RとR₁とがいっしょになってフェニル又はヘテロアリール基を形成し、R₂が水素であるか、R₁とR₂とがいっしょになってフェニル又はヘテロアリール基を形成し、Rが水素であり、

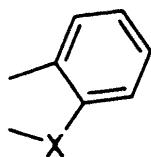
環A及びBは、互いに独立して、C₁～C₄アルキル、C₁～C₄アルコキシ、ハロゲン、-COOR₃、-CONHR₄及び/又は-SR₅によって置換されていてもよく、R₃、R₄及びR₅は、互いに独立して、水素、C₁～C₄アルキル、C₆～C₁₂アリール又はヘテロアリールである)

の少なくとも一種の無金属有機顔料を使用することを含む方法。

【請求項2】

RとR₁によって又はR₁とR₂によって形成されるヘテロアリール基が、式

【化2】



(2)

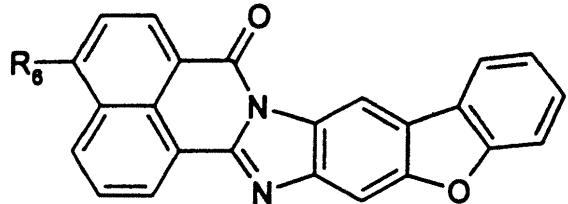
(式中、

Xは、-O-、-S-、-NR₆-であり、R₆は、水素、C₁～C₁₂アルキル又は非置換であるか、ヒドロキシ、ハロゲン、C₁～C₄アルキル及び/又はC₁～C₄アルコキシによって置換されているフェニルである)
の基である、請求項1記載の方法。

【請求項3】

式

【化3】



(3)

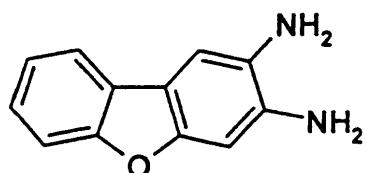
(式中、

R₆は、水素又は臭素である)
の、請求項1記載の顔料。

【請求項4】

請求項3記載の式(3)の顔料の調製方法であって、式

【化4】



(50)

の化合物を、酢酸中、高温で、非置換又はプロモ置換ナフタレン-1,8-ジカルボン酸無水物及び酢酸カリウムと反応させることを含む方法。

【請求項5】

合成材料を練り込み着色する方法であって、請求項1記載の式(1)の少なくとも一種の顔料を当該材料の基材に配合することを含む方法。

【請求項6】

合成材料の練り込み着色における、請求項1記載の式(1)の顔料の使用。

【請求項7】

請求項5にしたがって請求項1記載の式(1)の顔料で着色された合成材料。